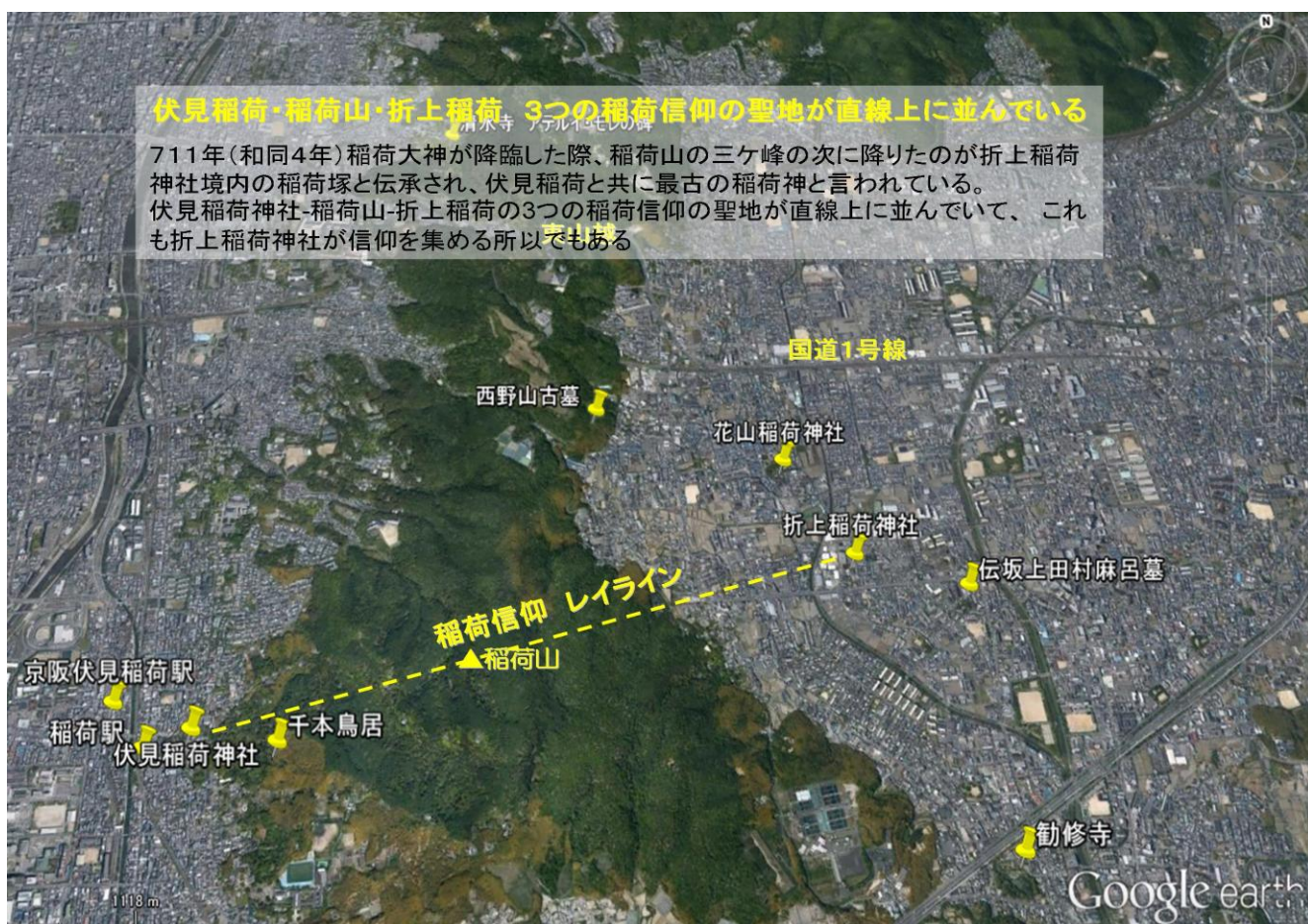


2.3. 伏見稲荷の奥宮 稲荷大神降臨伝承が残る折上神社

伏見稲荷・稲荷大神降臨の稲荷山頂とレイラインで結ばれている折上稲荷神社



折上稲荷神社境内の稲荷塚(京都市史跡)は約1,500年前のもので、稲荷神の前身、祖先神(田の神)がお祀りされていた聖地。後の711年(和同4年)稲荷大神が降臨した際、稲荷山の三ヶ峰の次に降りたのが境内の稲荷塚と伝承され、伏見稲荷と共に最古の稲荷神と言われている。山に対する信仰と生産の信仰が一体となって生まれたと考えられ、きわめて古い民間信仰の姿をとどめているといわれる。





山科盆地 折上神社の南西すぐ安祥寺川より眺める稲荷山
 京都と山科盆地を隔てる稲荷山(手前西野山が重なっています)
 稲荷大神が降臨したという稲荷山 この山の向こうに伏見稲荷大社がある



山科 西野山 walk 主要訪問先案内

